

# 第三期大野市環境基本計画の一部改定について

## 《改定理由》

- ✓2050年カーボンニュートラル達成を目指した計画「大野市脱炭素ビジョン」と整合を図る
- ✓大野市役所としての脱炭素計画（地方公共団体実行計画・事務事業編）を加える

## 《改定方針》

- ✓脱炭素ビジョンに定める目標や方針、プロジェクトを踏まえ、それらの達成もしくは実行に向けた具体的な行動や取り組み、ロードマップを第三期環境基本計画に盛り込む

## 《スケジュール》

- ✓4月～9月 市にて改定案を検討 →10月 審議会で改定案を協議
- ✓11月 パブリックコメント →翌2月 改定予定

		第三期環境基本計画		脱炭素ビジョン	備考
方針		2050カーボンニュートラル（CN）を視野に入れた低炭素化	← 変更 →	2050カーボンニュートラル（CN）達成に向けた脱炭素化	
計画期間		R3-R12	← 一致 →	R5-R12	
目標	C02排出量	H29 302千トン R元 272千トン R2 未算定 R12 231千トン	← 変更 →	R元 243千トン R2 221千トン R12 175千トン	区域施策編
	C02吸収量	R2 未算定 R12 未算定	← 追加 →	R2 ▲150千トン R12 ▲150千トン	
	再エネ導入量	R12 未算定	← 追加 →	R12 ▲4千トン	
	市役所エネルギー使用量	R元 4,554キロリットル R12 4,326キロリットル	} 2050CN達成 対応に変更	未算定	事務事業編 ※国目標を参考に 目標設定を変更 2030年までに 2013比▲50%
	市役所省エネ目標	未算定 (公用車EV化、施設照明LED化など)		未算定	
脱炭素施設数	R12 5施設	未算定			
C02算出手法	環境省公表簡易調査	← 適用 →	環境省マニュアルに基づく詳細調査		

脱炭素ビジョンに定めるプロジェクトに対応する具体的な取り組みや行動、ロードマップを第三期環境基本計画に落とし込む

第三期環境基本計画の取り組み		脱炭素ビジョンのプロジェクト
<b>重点施策①</b> 脱炭素に向けた行動の促進 ●低炭素型エコライフや事業活動の促進	対応有 ←	A-②森林吸収分のカーボンオフセット事業の構築
<b>重点施策②</b> 脱炭素型のまちづくりの推進 ●公共施設等の脱炭素化の推進 ●公共交通の利用促進	対応有 ←	B-②共創による公共交通の脱炭素化とITを活用した利便性の向上
<b>重点施策③</b> 気候変動適応策の推進 ●自然環境に与える影響の把握 ●自然災害対策の推進		
<b>重点施策④</b> 省エネルギーの推進 ●住宅・建物部門における省エネの推進 ●産業、農業部門における省エネの推進 ●運輸部門における省エネの推進	対応有 ←	B-①健康快適！ゼロカーボン住宅・建築物&ゼロカーボンドライブの推進
<b>重点施策⑤</b> 再生可能エネルギーの利用促進 ●再生可能エネルギーの利用促進 ●木質バイオマスの利用促進	対応有 ←	C-① 小水力発電の導入拡大 C-③ 太陽光発電の導入拡大 C-② バイオマスエネルギーの利活用 A-① 木質バイオマス発電所への安定供給を核とした森林資源の好循環システムの確立
<b>重点施策</b> 3Rによるごみ排出量削減の推進	対応有 ←	B-④ ごみ減量化の推進
環境基本計画にない取り組み	対応無 ←	B-③ 市街地エリアのスマートコミュニティ整備 D-① 再エネの地産地消スキーム・ビジネスモデルの構築 D-② 再エネ供給による産業振興 D-③ 農業系未利用資源を活用した通年型農業の構築 E-① 官民連携による脱炭素プロジェクトの推進 E-② 脱炭素人材の育成とネットワークづくり